

AIRHEADS通信

vol.

65

家具メーカーとの連携でオフィスのスマート化を！ Aruba本社研修レポートその1

平素より「Airheads通信」をご愛読いただき誠にありがとうございます。

パートナー営業本部の川俣です。

この6月に待望の娘が生まれ、5歳の長男を含む2児のパパになりました。

長男の時は当然ながら不慣れなことが多かったこともあり、
夫婦ともにてんてこ舞いな日々でした。特に男の子とパパの相性が
あまりよくないのか、だっこをすると嫌がられたなあ...

そう考えると、懐かしい気持ち半分、ブルーな気持ち半分だったのが
正直な気持ちだったのです。

でも、娘だからなののでしょうか。

長男に比べると、よく寝てよく笑う、かわいらしい性格のようで、
元気にすくすくと日々を平穩に過ごしています。

やっぱり女の子だから違うのか、二人目での慣れがそう感じさせるのか...

娘はまさに授乳中のため、もっぱら長男の相手をしていることが
最近では多いのですが、5歳にもなるといろんなトレーニングをする時期に
差し掛かっています。

本を読んであげることも多いため、ひらがなや数字のトレーニングをしたり
自分で歯が磨けるようなトレーニングをしたり。

そんな各種トレーニングの中で、すごく便利なグッズを発見しました。



これ、**エジソンの箸**というものです。
もちろん、お箸使いのトレーニングに使うグッズ。
ご存知でしたか？

かくいう私も箸を上手に使えるわけではないため、
うまく長男に箸の使い方を伝えることが難しかったのですが、

この箸、本当にスゲェ！！

一発目からご飯を箸でつかんでやがる...**長男もスゲェ！！**

そんなことを思いながら、私もいち営業として、こんな感動をユーザーに
感じてもらえるような仕事ができるとうれしいだろうなあと。

小さなことではありますが、ちょっとした感動が
モチベーションを上げることにつながるのだと改めて実感しています。

“川俣...こいつ、ガチでスゲェ！！”

と感じてもらえるよう、今日も頑張ってます！

家具メーカーとの連携でオフィスのスマート化を！

Aruba本社研修レポートその1



美咲の知らないところで大輔がAruba本社の研修に参加していたことをひょんなことから知った美咲。セキュリティへのこだわりやオフィスをこれまで以上にスマート化するための新たなアライアンス、そして未発表の機械学習に関する話題もあるようで。さらに進化を続けるArubaのネットワーク基盤、その先に描く未来とは？



大輔（だいすけ）

A市役所のIT推進室から転職して、現在は世界的なお菓子メーカーであるD&W社の情報子会社に転職。ネットワーク統括部のメンバーとしてグローバルなIT基盤の運用管理を担う。実際にはITの知識があまりなく、いつも周囲に頼ってばかりいる。



美咲（みさき）

大輔と同じくA市役所職員から転職した、もと大輔の部下。大輔が所属する情報子会社の親会社にあたる、グローバル本社のD&W社システム企画部に所属。社会人歴はわずか3年ほどだが、平成生まれのデジタルネイティブ世代として、ITの知識は豊富。



ディーン

D&W社のシステム部門に在籍する留学生・インドネシア人。ネットワークやセキュリティのスペシャリストながら、日本の文化に傾倒、大輔や美咲よりも日本のカルチャーに詳しい。



大輔さん、おはようございます。



あれ、美咲くん、おはよう。今日は子会社のほうに？



そうなんです、ちょっと野暮用で。そういえば、夏休みに北海道へ旅行に行ってきたので、そのお土産を持ってきました。



あ、チーズ！僕のために買ってきてくれるの？



いや、部署の皆さんに...



いやーうれしいなあ、僕のために。そういえば、チーズといえばワインだよな。



いや、だから、大輔さんのためってわけじゃ...



そういえば、6月にカリフォルニアのワイナリーに行ってたっぷり堪能したなあ、ワイン。



話聞かないんですね。あれ？6月にカリフォルニアなんて行ったんですか？



そうそう、えーとあれは何だっけ？えーと、仕事で行ったような...あ、そうだ！



思い出しましたか？



Arubaの本社へ出張に行ってたんだ！！



え！？そんなネタ、聞いてないですよ。お土産ももらってないし。



だって、聞かれてないもの。お土産も買ってないし。



冷たいなあ、大輔さん。でも、仕事で行ったら教えてくださいよ。いろいろ新しいネタも仕入れたんでしょ？



ふふふ...もう忘れたよ。でも、大丈夫、ディーンがいたからさ。



ディーンを記録係みたいに使わないでくださいよ...
で、何か発見はあったんですか？



実は半年前も参加したんだけど、今回もいろいろアップデートはあったし、新しいソリューションも追加されていたなあ。ま、詳しくは...



ディーンに聞けと。で、ディーン、どうだったの？



こんにちは。急に聞くんデスね。
大きな印象としては、やはりセキュリティの投資が積極的だった印象デスね。



具体的にはどんなものが話題になっていたの？



セキュリティについては、User and Entity Behavioral Analytics (UEBA) である「IntroSpect」がArubaとして昨年投入され、以前からある認証によってセキュリティを担保するClearPassに加えて、中からネットワークを保護するIntroSpectがそろったわけデス。



細かく言えば、ファイアウォールやIPS、DPI、VPNといった各種機能は、もともと標準で実装されているものね。



そうなん德斯。Arubaとしてはセキュリティをオプションとして捉えておらず、必須の機能だと見ていると改めて語られています。



そういえば、その辺は語っていたね。



アクセススイッチも、センサーとして位置付けられている面がアツテ、「Switch as a Sensor」なんていう表現をしています。



それはスイッチ側でトラフィックのあらゆる情報を集めてClearPassに送る、という意味でしょうかね。



そういう意味デスね。まさにセキュリティのインプットとして使うわけデス。



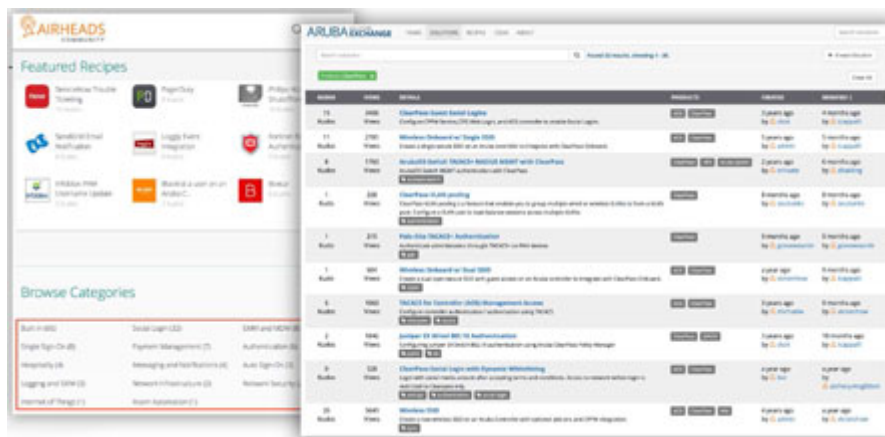
あ、思い出した！！新たな機械学習のソリューションについても語っていたな。完全オフレコって言っていたけど。ちなみに英語でオフレコっていの？



そういう話が聞けるのも、本社ならではですよ。気になるー！！



そうそう、あまり日本では話題になっていないようデスが、実はインテグレータとのエコシステムも米国では進んでいますね。Aruba Solution Exchangeというのを公開しています。



そういう活動もしているのね。



数は少ないデスが、インテグレーションできるようレシピのようなものが紹介されてイルので、日々の運用に役立つレシピが見つかるかもしれません。



他には何か気になるネタがあった？



やっぱりSD-WANのソリューションに関することでショウか。
Aruba Centralを管理の中核に据え、管理の中核としてデータセンターに設置するHeadend Gatewayやブランチオフィス側のBranch Gatewayを使ってSD-WANを構築するソリューションです。



これからますます求められる領域でもんね。



Aruba Centralの役割についても改めて整理されていまシタよ。
具体的には機器を管理する「デバイスマネジメント」や設定を提供する「デバイスプロビジョニング」、デバイス監視を行う「モニタリング」、そしてWAN全体の品質をチェックする「PQMS (Professional Quality Management Services)」の機能がその中心にあります。



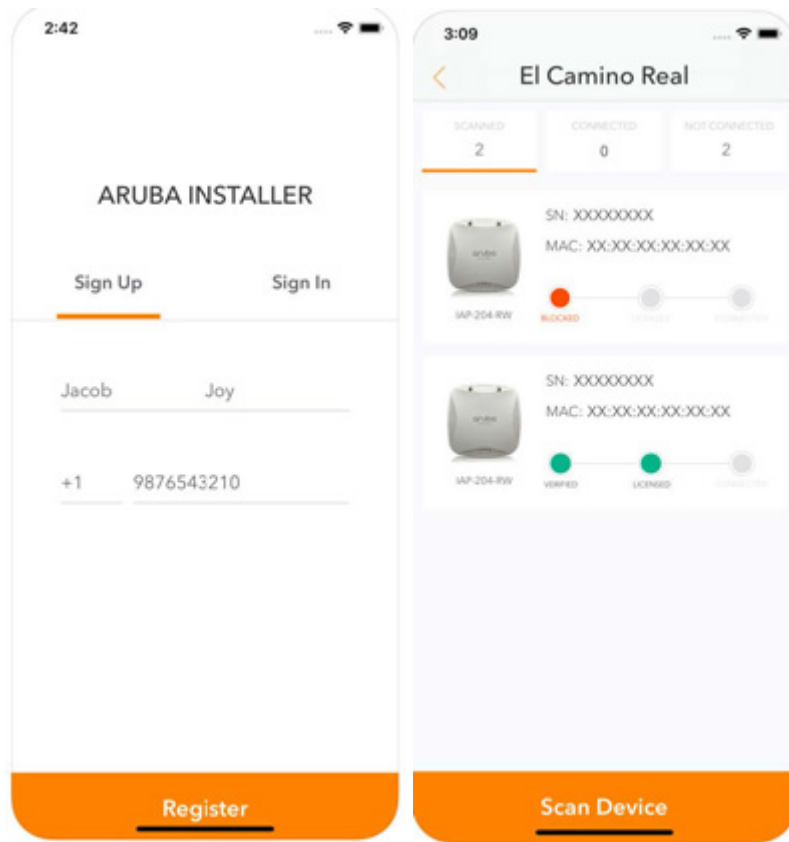
これも日本だとこれから立ち上がってるところね。うちも拠点がたくさんあるので、SD-WANを使ってクラウドでの管理に移行したいなあ。



そうだね、毎回現場に走るのはしんどいし。



そういえばSD-WANのセッションで「Arubaインストーラ」ってアプリも紹介されていまシタ。



<https://itunes.apple.com/us/app/aruba-installer/id1270000777?ls=1&mt=8>



それって、デバイスのシリアル番号をスマホで写真にとると、自動的にスキャンして登録してくれるってやつでしょ。確かデモで見たな。



そんなアプリあったんですね！全然知らなかった。



たくさんのデバイスを展開するときに便利デスよ。グループは登録した後に作っていきマスが、登録しておけば現場でイーサネットに接続スルだけ。ゼロタッチプロビジョニングがまさに実装できるわけデス。



ぜひ使ってみたいアプリね。



ちなみに、このインストーラはSD-BranchをはじめとしたSD-WANソリューションだけでなく、通常のAPやスイッチのインストールにも使えマスので、とっても便利デスよ。



そうそう、Aruba Centralの話題でいえば、新しいAirWave10についても話が出ていたな。Aruba Centralをオンプレミス版にパッケージングしたような作りで、拡張性が限定的な従来のAirWave8とは違うものになるらしいよ。



いよいよ実態が見えてきましたね。Aruba CentralとAirWave、いずれは取れんされそうですけどね。



ま、その辺の明言は避けていたけど。あとさ、面白いと思ったのが、「スマートデジタルワークプレイス」っていうやつ。



なんです？それ。



Arubaはネットワーク性能を最適化するアナリティクスエンジンであるNetInsightを持っていて、それらが無線状態の可視化を行っているわけだ。



ふんふん。



で、その情報を活用すれば、オフィス全体のエクスペリエンスを向上させることができるって。つまり、仕事をするための最適な環境をパートナーとともに作っていかうという試みなんだよね。



どのあたりが新しいんでしょうか。



パートナー先となるのが、不動産会社とか什器等を提供する家具メーカー、仕事を設計する企業、Wi-Fi対応の電球を作るメーカーなど。ITベンダーではなくて、仕事を構成する各企業というのが変わっているところかな。



家具メーカーとArubaがコラボするとどうなるんです？



例えば、30分以上座りっぱなしで特定のアプリケーションを使っていれば、立ち上がることを促すよう、机の高さが自動的に変わるとか。利用状況に応じて照明の色が勝手に切り替わるとかね。



あ！そういう連携なんですね！



空いている会議室を自動的に見つけたり、会議室に入ると自動的にスクリーン設定が開始されたりといった、時間の節約につながるようなことにも役立ちますね。



今はグローバルベンダとの提携が進んでいるけど、いずれは日本のほうでも進む可能性はあるね。



なんか、ちょっとワクワクした世界がやってきそうですね！



他にも新しいネタがあったな。次回紹介するよ。

===== 【おしらせ】 =====

Airheadsアカデミーシーズン2 第1回の動画を公開しました！
下記URLよりご覧いただけます。

バックナンバー

- ▼ 見えるから解決！ 無線LANトラブルトラブル1 うまくつながらない (vol.1~2)
- ▼ 見えるから解決！ 無線LANトラブルトラブル2 遅くなったように感じる！ (vol.3~6)
- ▼ 予知できるから安心！ 無線LANトラブルの回避 トリガー設定編 (vol.7~10)
- ▼ コントローラ内蔵APが現場を救う！ 無線LAN導入のススメ (vol.11~21)
- ▼ 認証ソリューション「ClearPass」による安全対策のイロハ (vol.22~25)
- ▼ Office 365/Skype for Businessによるワークスタイル変革に最適な無線LANの勘所 (vol.26~28)
- ▼ パブリックに出せないインフラに俊敏性と拡張性を実現、フレキシブルキャパシティ (vol.29~31)
- ▼ それ選んじゃダメなの！？後悔しない“クラウドWi-Fi”選びの視点 (vol.32~34)
- ▼ WannaCryの対策がワカラナイ... HPE Aruba的ランサムウェア対策のススメ (vol.35)
- ▼ 失敗事例に学ぶクラウドWi-Fiの落とし穴 大輔が見た真実 (vol.36~37)
- ▼ 大輔的シリコンバレー見聞録 (vol.38~40)
- ▼ もう取り寄せた？ 無料入手「HPE Networking製品カタログ」がすごい件 (vol.41)
- ▼ “犯人は無線”冤罪を証明するClarityって何？ (vol.42~43)
- ▼ 大輔が行く！ マカオ「APAC Atmosphere 2017」ルポ (vol.44~46)
- ▼ 慶應義塾大学が5種類のAPを使い分けるわけ...事例探訪 (vol.47)
- ▼ IoT時代のネットワークづくりに貢献「ArubaOS 8」って何がスゴイの？ (vol.48)
- ▼ 今年の学びを総決算！ リーナ通信2017年振り返り (vol.49)
- ▼ 大輔的シリコンバレールポ (vol.50~54)
- ▼ “SDNその先へ” (vol.55~58)
- ▼ クラウドWi-Fi事例探訪 (vol.59~60)
- ▼ 再考すべきLANスイッチ選択 (vol.61~62)
- ▼ 「Airheadsアカデミー」体験記 (vol.63~64)

バックナンバーは、下記サイトにて公開しております。

<https://www.hpe.com/jp/ja/networking/mailmagazine.html>

※最新版が掲載されていない場合もありますが、随時掲載して参りますので後日ご確認ください。